

# 吉原地区、舞鶴初の 伝統的建造物群 保存地区に決定

江戸時代から続く舞鶴の「獵師町」吉原地区。その町並みは、歴史的価値が高く評価されています。舞鶴市では、4月1日、この貴重な歴史的景観を次世代に継承するため、初の伝統的建造物群保存地区に決定しました。引き続き地域住民の皆さんと一丸となり、令和8年度中の国の重要伝統的建造物群保存地区への選定を目指し、取り組みを進めていきます。

《歴史文化まちづくり課》

## これから目指す 重要伝統的建造物群 保存地区とは

歴史的な町並みを形づくる建造物群で価値が高いものとして、市町村が定める伝統的建造物群保存地区。そのうち、特に価値が高いものを市町村の申し出に基づき、国が選定するものです。

## 今後の取り組み

### 吉原の景観と住民の暮らしを守るために

伝統的建造物群保存地区への決定に伴い、4月1日から保存地区内で建物の新築・増改築・除却や外観を変更する工事を行う場合は、事前に市への届け出が必要となります。

▶詳しくは、歴史文化まちづくり課(☎66・1063)へ。



旧鳥路邸



吉原入江

### 吉原地区を知る・楽しむ

保存地区の拠点となる「旧鳥路邸」を整備し、地元住民による運営がスタートしました。また、景観を守る活動をしている地元実行委員会のInstagramや市のホームページなどで魅力を発信しています。詳細は市ホームページで確認を。右コードからアクセス可。



# 令和8年度 組織改編と人事異動

舞鶴市では「未来に希望がもてる活力あるまち・舞鶴」の実現に向け、4月1日付けで組織改編と人事異動を行いました。

今回の改編では組織の果たす役割を見直し、事業間の連携を強めることで、これまで積み上げてきた取り組みをさらに加速させます。同時に「挑戦をたたえ、支え合う」組織風土を築き、時代の変化を恐れず未来を見据えた市政運営を進めていきます。

## 組織改編

### ▶生涯学習部

#### ◆文化・国際課を新設

文化振興業務と国際交流業務の連携を強化し、これまで育んできた中央アジアとの結びつきを生かした歴史文化交流などの幅広い交流への発展を推進します。

#### ◆歴史文化まちづくり課を新設

近代化遺産などの歴史や文化、資源を次世代へ継承する取り組みを着実に推進し、重要文化財である赤れんが倉庫群の整備や伝統的建造物群保存地区の整備などの取り組みを推進します。

#### ◆舞鶴引揚記念館を編入

新設する文化・国際課や歴史文化まちづくり課との連携を強化し、引き揚げの史実の次世代への継承をより確実に推進します。

#### ◆スポーツ振興課にまいかつ担当課長を配置

地域クラブ活動「まいかつ」の本格始動へ向け、参加する生徒や保護者、地域の指導者と円滑に連携し、部活動の地域展開を推進します。

### ▶市民環境部

#### ◆市民協働推進課に「女性活躍・多様性共生推進係」を新設

男女共同参画の取り組みをさらに発展させ、女性がより一層輝き活躍できる社会の実現と、外国人をはじめとする多様な人材が地域で安心して暮らすことのできるまちづくりを推進します。

## 人事異動

正職員 772 人のうち、198 人が異動しました。令和 7 年度の退職者は 36 人、令和 8 年度の採用者（令和 7 年度の中途採用者を含む）は 50 人。

#### ◆吉田康人氏を参事に任命

民間と行政、双方の経験を生かし、舞鶴市の行財政や人事の仕組みを抜本的に見直し、より良い市役所づくりを強力に進めます。

▶詳しくは、市ホームページに掲載しています。右コードからアクセス可。



### ▶産業振興部

#### ◆商工・観光振興課を新設

地域経済のさらなる活性化を目指し、商工部門と観光部門が連携し、令和 8 年度から策定に取り組む「観光振興ビジョン」の実効性を高め、戦略的な施策展開を推進します。

#### ◆みなと・産業振興課を新設

みなと振興と企業誘致施策を緊密に連携させ、強化が進む京都舞鶴港の持つ潜在能力を最大限に引き出すことで産業の発展を推進します。

### ▶教育振興部

#### ◆学びの環境デザイン担当課長を配置

子ども達の成長に望ましい教育環境の構築に向け、学校再編を含む多角的な検討を推進します。変化する社会の中で、子ども達の未来にとって最適かつ持続可能な教育環境をデザインします。

#### ◆学校教育課に「学校生活相談係」を新設

教育支援センター「明日葉」内に設置している「いじめ相談室」の機能を拡充・強化し、課題を抱える児童生徒や、児童生徒を支える学校現場を包括的に支援することで、より一層子ども達の心に寄り添った伴走支援を行います。